

会 長：柳田 光寛 副 会 長：藤堂 孝一
幹 事：荒武 義博 会報委員長：林 厚雄
会 計：日高 邦孝
事 務 局：吉野由里子 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：佐土原商工会 2F TEL：0985-73-2567



第1102回 平成22年2月3日（水）

本日のプログラム

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 2月のセレモニー |
| 2. 国 家 斉 唱 | 8. 幹 事 報 告 |
| 3. ロータリーソング | 9. 出 席 報 告 |
| 「我らの生業」 | 10. 委 員 会 報 告 |
| 4. 四つのテスト | 11. ゲ ス ト 卓 話 |
| 5. 会 長 の 時 間 | 「築地運送代表取締役」 |
| 6. ハッピーBOX披露『会長より』 | 12. 点 鐘 |

2月10日（水）・・・フォーラム

「奉仕プロジェクト担当」

2月17日（水）・・・会員卓話「佐藤高元君」

2月24日（水）・・・会員卓話「日高邦孝君」

佐土原ロータリー月間テーマ

【世界理解月間】

第1101回の記録 平成22年1月27日

会長の時間

柳田 光寛 会長

皆さんこんにちは、今日は1101回目の例会です。

先週の21日の宮日新聞に「子どもと貧困」といった特集記事が出ていました、ご覧になった方もいらっしゃると思います。内容としては、生活保護を受けている母子家庭で私立中学進学を望み役所に相談に行ったら、おかしい顔をされて断念したといったような内容でした。生活の困窮さも記事には書いてありました、親子で同じ服を共用・給料前には腹持ちのいいジャガイモを買ってたべたとか、修学旅行を断念したとか今思い出しても目頭が熱くなります。

最近、子供の教育に非常にお金がかかります。家計が苦しくては塾にはもちろん有名私立の学校にも進学できない状況です。昔は生活が苦しくても苦学してよい生活を得ることが出来たのですが、近年では到底追いつけないレベルではないかと思います。なんだか負の連鎖・負のスパイラルになってしまいそうです。

よく当クラブをはじめ色々ところで、米山奨学金やR財団への疑問を聞くことが有ります、他国から来た留学生の援助やポリオ撲滅の国際的視野も大事ですが、まずは国内や身近なところでの問題も大切ではないかなと思ったところでした。

さて、今日は渡辺崋山の『商家の銘』をご紹介します。

渡辺崋山とは、激動の幕末を生きた画家。ある時、出入りの商人が商売の秘訣を尋ねると、快く崋山はこんな『商家の銘』を書いて渡したそうです。

- 1 ★召使より、早く起きよ。
- 2 ★十両の客より、百文の客を大切にせよ。
- 3 ★買人（かいて）が、気にいらぬ品を返しにきたならば、売るときよりも丁寧に受けよ。
- 4 ★繁盛にしたがって、ますます倏約せよ。
- 5 ★小遣いは、一文より記せ。
- 6 ★店を開きたるときのことを忘るな。
- 7 ★同商売が近所にできたら、懇意を厚くし互いに励めよ。
- 8 ★出商（でみせ）を開いたら、3ヵ年食料を送れ。

これが、渡辺崋山の『商家の銘』。

できるところから、心がけてやってみましょう
光る存在になって、幸せが舞い込んでくるはず！
善い行いは、必ず善い結果となって返ってきます。



渡辺崋山

SADOWARA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

幹事報告

荒武 義博 君



- ※例会変更届け・・・無し
- ※薩摩河内ロータリークラブ～
創立 30 周年記念式典のご案内
- ※西都・高鍋 R C ～ 2 月の例会案内
- ※米山記念奨学会～確定申告用領収書

ハッピーBOX披露

- ※岩切正司君～2月7日は皆でロータリーを学びましょう。 「米山へ」
- ※郡司武俊君～夫人誕生日・・・いつも美味しいお肉をありがとうございます。 「ニコニコへ」
- ※村岡博君～1月誕生日を祝いありがとうございます。 「ニコニコへ」

委員会報告

○奉仕プロジェクト委員長 中武 幹雄 君



～1月22日金曜日開催の委員会報告～
会員増強委員会と合同にて10名の参加の元行いました。あじさい賞の推薦候補者「4・5月に表彰の予定」
地域美化運動に協力「春以降実施の予定」

3分間スピーチ



○藤堂 孝一君

会員卓話

林 厚雄 君



私の職業は自動車の電装品整備ですが、最近、自動車の原動機並びに構造が大きく変化しようとしています。

それは、精密なコンピューターによる各部の制御、ハイブリッド車の様にエンジンとモーター・大容量のバッテリー搭載車、また、モーターにのみで走行できる電気自動車が今後の自動車の主流になるようです。

その為我々の業界もそれに対応するべく技術の取得、故障等を診断するテスターや高電圧作業用工具などが求められるようになっていきます。

それで今日は、少し電気自動車について話を致します。

電気自動車が発明されたのは古く、明治6年英国で、明治32年始めて日本に輸入された後、大正6年には電気自動車ブームが起きました。しかし、石油エネルギー時代の到来とともにガソリン車の時代が訪れます。

世界的に車の保有台数が増加するに連れて、内燃機関（エンジン）が発生する排気ガスが地球温暖化の原因としてクローズアップされ出した昨今、今度は排気ガスを出さない電気自動車に注目が注がれるようになりました。

数年前までの電気自動車は主電源であるバッテリーが鉛電池であるために、ガソリン車と同等に使用できるには車の容積の多くをバッテリーで占めなければ実用化できなく、車両の重量も大きくなります。そこで、最近小型軽量で一回の充電での走行距離が長い電池が開発され、実用化に結びつけられました。

電気自動車は発動機・変速機等がなく構造が簡単ですので車メーカーだけでなく他の業界でも製造販売ができます。中国・東南アジアでは小さな町工場でも製造できる事で、安全規格の無い安価な電気自動車が結構販売されているそうです。

トヨタ自動車とホンダは現在のところハイブリッドカーを販売していて、生産が間に合わない程の受注が発生しています。電気だけでは、電池を使い切ったら充電するのに長い時間が必要としますし、充電等のインフラがまだ整っていない、などの効率が悪いところがあります。

ハイブリッド車はエンジンとモーターで効率の悪いところを協調、あるいは相乗効果によってロスを少なくしているからです。（ハイブリッド車は従来のガソリンスタンドで燃料を補給するだけで走る事が出来る）やがて、電気だけで走る電気自動車の時代が来るのはさほど遠くは無い事と思います。

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第 1097 回

平成 21 年 12 月 16 日 (水)

会 員 数	25 名
(免除会員 2 名)	
出 席 者 数	20 名
欠 席 者 数	5 名
出 席 率	86.0 %
メークアップ	0 名
修正出席率	86.0 %

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにしてください・・・